



Cyprien Katsaris
シプリアン・カツァリス

Piano Recital

2016/10/15 [土] 15:00開演 (14:30開場) 藤沢市民会館大ホール

料金 一般 S ¥ 5,500 A ¥ 4,000 全席指定・税込 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

《プレイガイド》

藤沢市民会館	0466-23-2415	川上書店茅ヶ崎ラスカ店	0467-87-3826
湘南台文化センター市民シアター	0466-45-1550	湘南リビング新聞社	0466-27-7411
茅ヶ崎市楽友協会	0467-82-3744	イープラス	http://eplus.jp/ 〈パソコン&携帯〉

主催: 茅ヶ崎市楽友協会 0467-82-3744 <http://www.chigasaki-psc.org>

共催: (公財) 藤沢市みらい創造財団 芸術文化事業課 0466-28-1135 後援: 湘南リビング新聞社 0466-27-7411

Cyprien Katsaris

"鍵盤の魔術師" シプリアン・カツァリス

その輝くピアノの音色 様々な関連性から生まれる音楽を探求し
自作への思いを募らせるカツァリスならではのプログラム

第1部

《ショパン》

ノクターン 第2番 変ホ長調 作品9-2

ノクターン 第4番 へ長調 作品15-1

ノクターン 第20番 嬰ハ短調 遺作

ワルツ 第7番 嬰ハ短調 作品64-2

ワルツ 第12番 へ短調 作品70-2

ワルツ 第3番 イ短調 作品34-2

ポロネーズ 第1番 嬰ハ短調 作品26-1

ポロネーズ 第3番 イ長調「軍隊」40-1

マズルカ 第45番 イ短調 作品67-4

幻想即興曲 嬰ハ短調 作品66

子守唄 変ニ長調 作品57

第2部

シューマン:謝肉祭 作品9より第12番 ショパン

カツァリス:ありがとう ショパン

ベートーヴェン:エグモント序曲

メンデルスゾーン/リスト:7つの歌より
「ズライカ」作品34-4

リスト:ハンガリアン狂詩曲 第13番

ヨハン・シュトラウスII:ウィーン気質

日本の曲

ラヴェル:「マ・メール・ロア」より
第3番パゴダの女王レドロネット

エイブラム・チェイシンス:プレリュード 作品12-3

ラフマニノフ:プレリュード 作品23-2

カツァリス:さよなら ラフマニノフ

※曲目が変更となる場合がございます。予めご了承ください。

Profile

シプリアン・カツァリス

シプリアン・カツァリスは、1951年マルセイユ生まれのキプロス系フランス人ピアニスト兼作曲家。4歳からマリー＝ガブリエル・ローワースにピアノを習い始めた。

パリ音楽院卒。アリーネ・ヴァン・バレンツェンおよびモニーク・デ・ラ・ブルッコレリーに師事。ルネ・リロイおよびジャン・ヒュボーに室内楽を師事。1977年、プラティスラバでインターナショナル・ヤング・インタープリターズ・ロストラム・ユネスコで優勝、1974年ヴェルサイユでシフラ国際コンクール第一位受賞の他、1972年ベルギーのエリーザベト王妃国際音楽コンクールでは唯一の西ヨーロッパ人受賞者となった。

カツァリスは、ベルリン・フィル、など、世界の著名なオーケストラや、レナード・バーンスタイン、クルト・マズア、ジョン・ミンフン、サイモン・ラトルなどの指揮者と共演。1984年ドイツでベートーヴェン作曲/リスト編曲の「交響曲第九番」で「レコード・オブ・ザ・イヤー賞」を受賞した。テルデックとの録音を始め、これまで、ソニー・クラシカル、EMI、ドイチェ・グラモフォン、BMG-RCA、デッカ、パヴァーナなどと数多くの録音を行い、現在は自身のレーベル「PIANO 21」で録音を行っている。

1992年、NHKは、シプリアン・カツァリスと共同で、フレデリック・ショパンについてカツァリスによるマスタークラスの番組を制作、その個性的なレッスンに多くの若いピアニストが魅了された。2008年8月、カツァリスは北京オリンピック開催時に招かれ、国家大劇院で演奏会を2回行い、新しく作られた、10台のピアノとオーケストラのために作曲した協奏曲の世界初演に加え、オリンピックの普遍性に敬意を表して古代ギリシャの旋律と中国の旋律を用いて即興演奏し、絶賛された。



感動を、ともに、創る

美が響く力。

超え続けることが、在り続けること。

CFX

句のピアニスト情報が満載

ヤマハピアニストラウンジ

検索

Pianist Lounge.

<http://jp.yamaha.com/pianist-lounge/>

株式会社ヤマハミュージックジャパン